

平成27年度 第1回木更津市生涯学習推進協議会 議事録

- 1 日時 平成27年7月17日(金)午後2時00分～4時00分
- 2 会場 木更津市役所 6階会議室
- 3 出席者 委員：前野一夫会長、佐久間剛副会長、坂井英一委員、石井敏弘委員、尾崎進委員、藤野笙子委員、浦辺恒夫委員、磯部光治委員、鶴岡俊之委員、安藤順子委員(10名)
事務局：高澤教育長、鹿間教育部部長、齊藤教育部次長、石井生涯学習課長、佐々木主幹、露寄主査、堀田主事(7名)

4 次第

開 会

- ・木更津市生涯学習推進協議会会長挨拶
- ・木更津市教育委員会教育長挨拶

協議事項・報告事項

- (1) 平成27年度生涯学習関係重点目標・施策および生涯学習関係事業について
平成27年度生涯学習の重点目標・施策
生涯学習関係事業
- ・市民公開講座
 - ・生涯学習フェスティバル
 - ・生涯学習バス「まなび」
- (2) 新たな生涯学習基本構想・計画の策定に向けて
- (3) その他

閉 会

5 資料

- 平成27年度生涯学習の基本目標・政策・重点施策
- 平成27年度(第21回)生涯学習市民公開講座実施要項
- 平成27年度(第24回)木更津市生涯学習フェスティバル開催要項
- 生涯学習バス運行状況(平成26年度)
- 生涯学習バス「まなび」の使用について

6 会議の概要

【委嘱状交付】

委員の辞職に伴い6月1日付けで新たに委員になられた方への委嘱状の交付

- (1) 鶴岡 俊之 委員
- (2) 安藤 順子 委員

(進行)

ただ今より、平成27年度木更津市生涯学習推進協議会第1回会議を開催いたします。

委員13名中10名の出席です。会議の成立要件については、生涯学習推進協議会設置要綱に特に規定はありませんが、委員の2分の1以上の出席となっております。なお、本会議は木更津市審議会等の会議の公開に関する条例施行により公開されておりますが、本日の傍聴人はございません。以上、ご報告させていただきます。

それでは、前野会長よりご挨拶をいただきたいと存じます。

(前野会長)

今年度も会長を仰せつかりました前野と申します。

市の生涯学習は、生涯学習市民公開講座、生涯学習フェスティバル、生涯学習バスの運行など様々な活動を継続しております。幸い本市は全国でも珍しい人口が増えている自治体ということですが、一方で高齢化の問題が進んでおります。したがって、非常に幅広く市は活動していかなければいけない中で、この生涯学習は、非常に重要な活動のひとつになると思っております。委員の皆様には非常にお忙しい中、誠に恐縮ですが、ぜひこの活動が充実するようご協力をいただきたいと思っております。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

(進行)

ありがとうございます。続きまして、木更津市生涯学習推進副本部長の高澤教育長よりご挨拶申し上げます。

(高澤教育長)

皆様こんにちは。ご紹介いただきました木更津市生涯学習推進本部の副本部長を仰せつかっております教育長の高澤でございます。

今日は、大変お忙しい中、また、台風の余波で足元の悪い中、第1回会議にご出席いただきありがとうございます。また、前野会長をはじめ委員の皆様には、日頃から本市の生涯学習の推進につきましてご尽力をいただき、この場を借りて重ねて感謝申し上げます。

さて、先日、第50回君津地方社会教育推進大会が開催されました。その中で、少子高齢化、都市化・過疎化等の地域の変化、また、市民の皆様の価値観、ライフスタイルの変容などを通して、今後ますます、社会教育や生涯学習活動の需要が高まるであろうという話がありました。まさに“いつでも、どこでも、だれでも学べる”生涯学習の機会の場を提供することが、今後大いに必要になってくるのであろうということ強く感じた大会でもあり

ました。

今日の第1回会議では、次第にありますように平成27年度の生涯学習重点目標や施策、さらには関係する事業等についてご説明をさせていただきます。また、公民館の総合的な整備計画や生涯学習に関する基本構想や計画づくりを本年度からスタートさせる予定であります。とりわけ、生涯学習の基本構想や計画につきましては、委員の皆様にかなりのお力添えをいただくことになると思いますので、忌憚のないご意見・アイデアを出していただきながら、計画策定に向けていきたいと考えております。ぜひよろしく願いいたします。大変整いませんが、委員の皆様のご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げて、冒頭の挨拶に代えさせていただきます。どうぞ、よろしく願いいたします。

(進行)

ありがとうございました。それでは会議に入ります。

今後の議事進行については、生涯学習推進協議会設置要綱第6条により、会長をお願いいたします。

(前野会長)

それでは、これより進行を務めさせていただきます。本日の議題は、「平成27年度生涯学習関係重点目標・施策および生涯学習関係事業について」と「新たな生涯学習基本構想・計画の策定に向けて」の協議でございます。

それでは、まず、平成27年度生涯学習関係重点目標・施策および生涯学習関係事業ということで、生涯学習市民公開講座、生涯学習フェスティバル、生涯学習バスの各事業について、ご説明をお願いいたします。

(鹿間教育部長)

- 平成27年度生涯学習関係の重点目標・施策について説明 -

(石井生涯学習課長)

- 新たな生涯学習基本構想・計画の策定について説明 -

(事務局)

- 生涯学習関係事業について説明 -

(前野会長)

ありがとうございました。ただ今の説明につきまして、委員の皆様からのご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。

それでは、私からですが、社会の変化の中で、対応すべき問題があると思います。

ひとつは、選挙権の問題です。18才からの選挙権が認められましたが、若い彼らが、あまりよく判らないまま、知らないうちに選挙運動、選挙違反に巻き込まれる可能性があります。基本目標の中の新しいファクターとして対応したらどうかと思います。

もう一点は、情報教育関連です。昨今、スマートフォンが異常な勢いで普及しており、非常に早く展開する情報化社会に、青少年がどのように向かうのかという問題です。難しい問題ですが、LINEなどのSNSの書き込みで、いじめのようなことが起こっています。責める言葉を書く側はあまり意識しないのですが、責められる方は深刻に考えてしまう。そういったことも、全体の施策の中に何らかの形で、ファクターとして考え、市や学校、この委員会も協力してどのように対応すべきか考えていけたらどうかと思いました。

（高澤教育長）

先日、近隣の県立高校の校長先生方と懇談会があり、会長がおっしゃったように選挙権については、誕生日の関係で高校3年生の中で選挙権を持つ子、持たない子がいること、また、指導も含めて選挙権のあり方について、話題も大きくなるだろうという話がありました。特定の政党に関わるような指導はできないので、画一的な指導をしていく必要があるということです。

スマホの件につきましては、重点施策に「青少年を取り巻く環境浄化と非行防止」が、ございますが、18才以上の選挙権も含めて教育委員会の場でも提起したいと思います。

（前野会長）

他に、意見感想もあれば伺いたいと思いますがいかがですか。

（安藤委員）

以前に比べて、少年自然の家キャンプ場が積極的に使われているようになっていきますね。

施設の老朽化とともにフェードアウトしていくのかなと思っていましたが、積極的に活用されているというのは、良かったなと印象に残りました。

（石井生涯学習課長）

平成25年に「青少年の自然体験活動の推進方策と少年自然の家キャンプ場の今後のあり方について」、社会教育委員会議に対し諮問をいたしました。

子どもたちの自然の中での体験活動が少ない。人との関係を繋ぐ機会も減っている。しかし、自然豊かな木更津市には、キャンプ場があり、これが大きな強みになるのではないかななどの意見もあり、キャンプ場をぜひ有効活用すべく整備をして行く方向で検討願いたい、といったような答申が教育委員会にございました。それを受けて教育委員会としても充実させていきたいという方向で考えております。

（石井委員）

キャンプ場は、すごく体験活動にとっては良いと思いますが、子ども会とか青少年相談員が意図的に連れて行かないと、家族で行く場合は、便利で使いやすいオートキャンプ場の方が良いな、となってしまう。残すのであれば、減少している子ども会を残していくとともに、そういった繋がりを残していっていただきたい。

（石井生涯学習課長）

これまでも、家族連れや個別で使っていただいても良かったのですが、なかなか使っていただけなかった。しかし、最近はホームページや広報に力を入れることにより、幼稚園・保育園に入る前の小さいお子さんを持つ家族の申し込みが増えています。

また、小学校6年生から中学校を対象にした“いきいきキャンプ”に参加していただいた子どもたちが、今度は高校生大学生になってユースボランティアとして“いきいきキャンプ”に参加するというようなサイクルができつつあります。

このように、小さいときから高校生大学生までのキャンプ場での自然体験のサイクルが出来上がるといいなと考えています。

（前野会長）

ありがとうございます。他に意見等あると思いますが進行の関係から、次の議題に移ります。なお、大変申し訳ございませんが、教育長、部長、次長につきましては、所用のため中座させていただきますので、ご了承いただきたいと思います。

それでは、次に「新たな生涯学習基本構想・計画の策定に向けて」ということですが、今回は、小グループで話し合いということですので、進め方について事務局から説明をお願いいたします。

- 事務局より説明 -

ワールドカフェスタイルによってアイデアや意見を3グループ内で話し合う。

- 3グループでの話し合いの概要の発表 -

グループ1（石井委員）

生涯学習の根本的なところは、人との繋がりが基盤になっていないといけない。だから、仲間、ふれあい、地域との繋がり・豊かな関わりというところが、キーワードになりました。

そこには、人材の活用をしていくことが必要ですが、目先を変えて、テレビ・ラジオなどのメディアを活用していったらどうか、という意見がありました。

グループ2（鶴岡委員）

自己啓発的な部分も当然ありますが、加えて人や地域との繋がりは大事で、なおかつ楽しみながら続けてゆくこと。もし自分が人に与えることができるようなものがあれば、それを広めていくことが重要。続けること、広めること、自分自身楽しむことが、キーワードになってきます。

グループ3（安藤委員）

こちらのグループでは、通学合宿から話が広がりました。

住民会議が実施している“通学合宿”には、多くの大人やグループが子どもたちのために

いろいろな関わり方をしています。通学合宿の中で、子どもたちにもものづくりを教えることができたらか具体的な話もできました。

通学合宿は、体験型の生涯学習であります、子どもたちとそこに参画している大人たち、大人同士も繋げることもできる生涯学習だと思いました。

（石井委員）

私の感想としては、「生涯学習はリタイア組が学ぶ機会」というイメージを持っている人が多いのではないかと思うので、そうではない、子どもから大人まで学ぶ機会はあるのだという意味でのPRをもっとした方がいいのではないかという気がします。

（事務局）

それでは、これでワールドカフェセッションを終了します。ご協力ありがとうございました。それでは、前野会長、よろしく願います。

（前野会長）

皆様、ワールドカフェという新しい型式の話し合いの中、大変活発にお話されていました。ありがとうございました。予定された時間になりましたので、会議を終了したいと思います。本日は、グループでの話し合いとなったのですが、いかがだったでしょうか。忌憚のない話し合いができたのではないのでしょうか。最初に事務局からお話があったように、今回は、何かをまとめるという会議ではありません。次年度以降の本格的な策定作業に向けてアイデアを出していくという場でありました。非常に面白い考えもたくさん出ていると思いますので、今回出された意見につきましては、次回の会議の中でご紹介いただければと思っております。

それでは、これで本日の会議を閉じさせていただきます。どうもありがとうございました。

（進行）

長時間にわたり、貴重なご意見をいただきありがとうございました。

それでは以上をもちまして、平成27年度木更津市生涯学習課推進協議会第1回会議を終了いたします。どうもありがとうございました。